

平成29年度 学校評価アンケートの結果と分析

平成30年1月19日(金)西会津高校

1 学校評価に関わるアンケートの結果より（カッコ内は前年比%）

(1) 本校に対する全体的な満足度

「15全体としての西高の生活は充実し、満足している」という項目に対して、A「あてはまる」またはB「ほぼあてはまる」と回答した生徒が全体の71%(-3)、保護者は85%(-5)であった。本校に対する全体的な満足度は維持されているといえるが、前年度と比較すると低下傾向にある。

(2) 学習指導についての評価

「1教師は生徒の実態に応じた授業をしているか」の項目では、AB評価が80%中盤のポイント数となっているが、前年度から比べると6~9ポイント低下している。文章で答える「意見・提言」の欄では、生徒からの記入のほとんどが授業についてのもので、特に「(授業の進度が)はやすすぎる」「わかりにくい」といった意見が目立った。一方、教員の意識としては、A評価が減りB評価が増えたものの、生徒・保護者の意識との乖離が昨年度よりは大きくなっている。

今回新たに設けた項目「2学校の授業の難易度をどう捉えているか」「3生徒が1週間のうちに家庭学習に取り組んでいる日数」の結果からは、授業内容については概ね適当なものと思えるが、家庭学習についての取り組みについては、まだまだ改善の余地が残されている。

(3) 生徒指導についての評価

「5生徒はあいさつ・服装・頭髪がしっかりしている」「6生徒は登校時間、授業時間や提出物の期限などを守っている」に対する生徒・保護者のA・B評価は90%前後となっており、全体として生徒は落ち着いた学校生活を送っていると評価できる。

(4) 相談体制についての評価

「8学校には悩みを相談できるスタッフがいる」では、教員のAB評価が100%なのに対し、生徒・保護者のA・B評価が対前年比で約10ポイント下げており、意識の違いがあらわれている。

(5) 委員会活動、部活動、ボランティア活動等についての評価

「7生徒は委員会活動や部活動に積極的に取り組んでいる」「13生徒はボランティア活動などに積極的に参加している」の両項目とも、AB評価が下がり、CD評価が軒並み上昇している。授業以外の活動が低調化傾向にあると読み取れる。

(6) 進路指導についての評価

進路指導に関する項目10・11では、生徒・保護者のA・B評価が下がっており、記述式の意見欄にも保護者からの要望があった。一斉指導に加えて、個別指導の要望があることがわかる。

(7) 広報活動についての評価

学校の情報発信に対する保護者のA評価が対前年比+27ポイントと大幅にアップした。これは保護者への直接メール配信を開始した効果だと思われる。ただ、メール登録数は6割程度にとどまっており、これまで毎月発行してきた「西高だより」やウェブサイトを通じた広報活動も継続しながら、より重層的な情報発信をしていく必要がある。

2 学校全体としての成果と課題

(成果)

- (1) 少人数教育により、中学までの不登校の克服や、生徒に自信を持たせる指導が実践できた。
- (2) 西高魅力発信隊の活動はもとより、総合的な学習の時間においても地域と連携し、その良さを生徒に知ってもらうことによって、生徒の自信につながる活動ができた。

(課題)

- (1) 授業の質の向上を今以上に求めていく必要がある。
- (2) 生徒の学習の習慣化を図る方策を検討しなければならない。
- (3) 小規模化が進む中、生徒の進路先における実績づくりが、学校の魅力づくりのための1つの課題である。